



発行 一般社団法人 日本品質管理学会
 東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内
 電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507
 ホームページ:www.jsqc.org/

CONTENTS

- 1-トピックス 50周年記念キャラバン活動 リーフレット『品質管理ってなんだろう』について
- 2-私の提言 これからの「現場」
- 2-ルポルタージュ JSQC規格「品質管理教育の指針」講習会ルポ
- 3-2020年12月・2021年1・2月の入会者紹介/教員公募/ANQ Congress 2021 Singapore
- 4-行事案内/事務局からのお知らせ

50周年記念キャラバン活動 リーフレット『品質管理ってなんだろう』について

50周年記念事業キャラバン担当理事 熊井 秀俊

今回の50周年記念キャラバン活動は、従来のJSQC内の事業とは別に、これまでJSQCとは縁が薄かった方々や組織等に対して、広く品質管理の重要性や効能等を身近な事例を通して、より知っていただく機会をつくる社会貢献の一環として行うことを主旨とします。そこでまず広く世の中に向けた新しいコンテンツとして、リーフレット『品質管理ってなんだろう』を作成し配布を開始し、またこの内容を骨格とした講演を社会の様々な組織・団体・企業に行うことも開始しました。

リーフレット『品質管理ってなんだろう』は、私たちが品質管理についての正しい理解を広く外部に発信することがまだまだ不十分であったこともありそれを解消するために作成しました。世の中でまだよく知らない人・今まであまり縁がなかった人が読むことを想定し、どなたが見ても難しくならず理解していただけるように、品質管理の真髄は外さずに、しかしできるだけ平易で簡潔な表現で作成した、A4サイズ見開き4ページの印刷物です。また、普及を加速するため、電子ファイルでも配布できるよう用意しています。

品質管理というと製造業というイメージが強いところがありますが、品質管理の考え方や進め方は、あらゆる業種・職種・仕事で活用できる、さらにお客さまや生活者の視点でも活用できることを強く意識しています。

品質管理の専門性の高い方々から見

ますと、ここまでデフォルメして大丈夫なのかというご心配があるかもしれませんが、初めて見る人にどこまで噛み砕いて説明すれば品質管理の真髄を正しくわかっていただけるかに挑戦し、そういう方々の評価も聞きながら、とことん突き詰めて作成しました。

リーフレットの4ページに込めた主なポイントは、以下の通りです。

- ・品質とは、お客様に提供した価値に対するお客様の評価であり、それは「機能・性能がいい」「故障がない」だけではなく「対応がいい」「便利だ」「信頼できる」「安全だ」など多様である。
- ・品質管理とは、よい品質のものを生み出す仕事を、効果的効率的にできるようにするためにみんなで継続的に行う活動であり、それは様々な仕事の場面で活用でき、目指すところは、「みんなが豊かに幸せになろう」である。
- ・その最も基本となる活動の「問題解決」について、考え方進め方の3つのポイント「問題を定義する」「事実をよく見る」「仕事のやり方をよくする」を紹介し、より理解を助けるようクイズを2問つけて解説しています。
- ・さらに「いますぐできることからまずやってみよう」として3つの行動「問いかけ合う」「目的・事実・仕事のやり方」「図に描いて考える」、「3分で説明してみる」をお勧めしています。
- ・最後に、品質管理をやって、「みんなが豊かに幸せになろう」、そして「問

題解決が楽しくなったと感じてもらいたい」と結んでいます。

いかがでしょうか？ かなり大胆にデフォルメしました。しかし、品質管理について初めて触れる方々には、このリーフレットによって 品質管理に対する「距離感」「ハードルの高さ」がかなり軽減されています。会員の皆様も、「品質管理がいろんなことに活用できる」ことを、お客様・ご家族・ご友人・ご近所の方などに説明したいときにご活用いただけたらと思います。

更に、このリーフレットの内容を骨格にした講演コンテンツも作成し、広く世の中に向けて2月より講演会も開始しました。仕事の視点のみならず、生活者の視点でも語りかけていることで、初めての方からも身近に感じたという意見をいただき手応えを感じています。これからさらに積極的な普及活動にしていきたいと思っております。

リーフレットは、下記URLよりダウンロードすることができます。

https://jsqc.org/50th_caravan/



<リーフレット表紙>

● 私の提言 ●

これからの「現場」

日野自動車(株) 鈴木 直人



筆者はメーカーの人間なので「現場」をとっても大切に思っているし、「現場力」という言葉が好きである。

日本が持つ現場力は、坂根正弘 日本科学技術連盟前会長が言っておられた「ビジネスモデルで先行し現場力勝負へ持ち込めば、日本はまだ勝てる」の言葉がまさに示すとおり、そう簡単には他国に真似され、座を脅かされるようなものがないもの、持って生まれた日本(人)の特性であり文化的財産と言っても過言ではないと筆者は思っている。

競争力で一番大切なのは、「簡単には真似されない」ことである。どんな

「競争優位」も真似されてしまえばそれは瞬く間に「一般水準」だ。かつて世界を席卷した日本の様々な優位性が、残念ながらいま失われつつあるのも、新興国などが「真似ができるレベル」に能力を高めてしまったことが大きな一因ではないかと思っている。

さて、そんな中でも日本が依然優位を保っている現場力であるが、最近この「現場」の言葉が指す対象にどうやら異変が起きている。まだまだ先と思っていたDXが、コロナ禍もあって当初想定を超えるスピードで私たちの日常に浸透しており、会議のリモート化などは序の口で、商取引から決裁、人材育成からデザインに至るまで、多くの仕事は「場所の制約」から劇的に解放されてきた。

そうすると「現場」とはいったいど

こを指すのか？ 業種業界によっては、業務のほぼすべてがリモート化され出勤先もない、つまり物理的な意味での「現場」など存在しない例も出て来そうだ(既にあるかもしれない)。

そして製造業、そこには「製造現場」が存在し続けるのではないかと思うかもしれない。しかし、もしかしたらそれさえも、5G以降いろいろな遠隔処理が可能になってくると、従来概念とは全く違う製造現場が出現することも充分考え得るのではなからうか。

そう簡単には真似されまいと思っていた日本の現場力、しかしその肝心の「現場」がいま大きく変わろうとしている。競争地図が一変するのは「ゲームチェンジ」が起こるときだが、日本はどうもこのゲームチェンジにめっぽう弱いらしい。新時代の現場感の中でも日本はその緻密な現場力を強みとして発揮し続けることができるのだろうか。

DXとコロナという歴史的変革の渦中で、どうチェンジをチャンスに変え競合先を迎え撃てば良いのか、まさに真剣な議論が必要な時である。

JSQC規格
講習会
レポート品質管理教育の指針
—TQMの実践に必要な
人材を育てる—

2021年3月16日(火)午後、JSQC規格「品質管理教育の指針」の講習会が開催されました。2017年の当規格制定以降、今回が3回目となります。過去の2回と異なるのは、新型コロナウイルス感染予防の観点からZoomによるリモートでの開催となったことです。全国各地から31名の参加がありました。

「品質立国」と言われて久しい我が国ですが、昨今不祥事をはじめ大きなトラブルが後を絶ちません。IoTやAIをはじめとする技術革新が進展しグローバル競争が激化する中、競争力の源泉ともいえるべき従業員の力量や倫理意識は大丈夫なのか、それを支える品質管理教育がおろそかになっていないかということが懸念されます。そのような中での当規格制定、そして講習会の開講には大いに意義が感じられるところです。

講師はトヨタ自動車OBで、現在は(株)クオリティ・クリエイション代表取締役であり、JSQCの理事でも

ある古谷健夫氏でした。補助資料は規格書とリンクした構成で、要所要所が非常にわかりやすくまとめられていました。穏やかな語り口による講義は聴きやすく説得力がありました。規格書の内容だけでなく、トヨタ時代を振り返っての思い出話なども大変興味深いものでした。特に同社が20世紀に海外への拡張路線を取ったとき、10年ほど社員の基礎教育が手薄になったことがあり、後でその挽回に苦労されたとのことでした。誰もが「教育は重要」といいながら、実際は業況が悪くなると交際費や出張費と共に真っ先に削られるのが教育費です。しかし、教育を怠ると後でボディブローのように効いてくるのが大企業の実話として示され、参加者の共感が得られたものと思われま

す。講義の後にはQ&Aに1時間もの枠が取られ活発な質疑応答がなされました。講師と質問者の1対1の応答だけでなく、他の聴講者の関連質問などにより議論が深まりました。

リモートであっても十分に場の共有ができ充実した講習会であったことを最後に付け加えておきます。

佐々木 市郎 (アルプスアルパイン(株))

2020年12月・2021年1・2月の入会者紹介

2020年12月15日の理事会・2021年1月18日の理事会・2021年2月17日の理事会審議において、下記の通り正会員24名、準会員3名、賛助会員2社2口の入会が承認されました。

(正会員24名) ○佐藤 雅通 (福島県立二本松工業高等学校)
○川畑 陽介 (カネカ) ○手島 昌一 (アングルトライ) ○新本 健仁 (本田技研工業) ○村田 安繁 (村田技術士事務所)
○中村 忠嗣 (デンソー) ○池田 克之○難波 政之 (パナソニック) ○加藤 崇資 (日立Astemo) ○吉村 喜予子 (筑波大学) ○北谷 太一○中村 隆史 (アルバック) ○渡邊 順子 (三光) ○橋本 達朗 (住友大阪セメント) ○石塚 真司 (内山工業) ○赤石 晶久 (やまびこ) ○吉村 孝史 (マツダ) ○永守 浩樹 (コベルコ建機) ○牛島 義光 (JNC) ○掛布 頭一朗 (三菱電機) ○本間 岳 (キヤノン) ○山川 裕康 (電通国際情報サービス) ○西垣 貴嘉 (シャープ) ○伊藤 崇 (青山学院大学)

(準会員3名) ○田口 千恵・東川 知樹 (東京工業大学)
○藤野 光希 (筑波大学)

(賛助会員2社2口)

○DMG森精機○味の素ヘルシーサプライ

名誉会員：22名
正会員：1697名
準会員：94名
職域会員：52名
賛助会員：151社223口
賛助職域会員：11名
公共会員：17口

教員公募

中央大学 理工学部 ビジネスデータサイエンス学科 専任教員公募

募集人員 教授、または准教授1名 (任期なし)

所属 理工学部 ビジネスデータサイエンス学科

専門分野 IoT を用いたスマートマニュファクチャリング、スマートロジスティクス、サイバーフィジカルシステム (CPS)、拡張現実 (AR) 等を基盤としつつ、データサイエンスを活用した新たな研究領域を切り拓く意欲があり、国際的にも研究展開できる方

採用予定 2022年4月1日(金)

応募締切 2021年5月31日(月)必着

詳細 <https://www.chuou.ac.jp/aboutus/recruit/2021/03/53587/>

慶應義塾大学 理工学部管理工学科/大学院理工学研究科 開放環境科学専攻 (オープンシステムマネジメント分野) 教員公募

1. 専門分野 経済

募集人員 准教授、専任講師、専任講師 (有期)、または助教 (有期) 1名

詳細 https://www.st.keio.ac.jp/corporations/recruit/20210322_01.html

2. 専門分野 情報科学

募集人員 専任講師、専任講師 (有期)、または助教 (有期) 1名

詳細 https://www.st.keio.ac.jp/corporations/recruit/20210322_02.html

採用予定 2022年4月1日(金)

応募締切 2021年6月18日(金)必着

ANQ Congress 2021 Singapore

2021年10月20日(水)~21日(木)にシンガポールにて、ANQ Congress 2021がオンラインで開催されます。

会場：Zoom会議室 (オンライン)

JSQCからの発表希望者はJSQCを通じて発表申込み、アブストラクト等を提出していただきます。なお、JSQCの英文電子ジャーナル「Total Quality Science (TQS)」への投稿・掲載を検討されている方は、JSQCからの申込みとANQ 2021での発表が必須です。

アブストラクト：A4・2ページ、英語または日本語

発表申込み締切：2021年5月24日(月)

申し込み先：<https://www.editorialmanager.com/tqs/default.aspx>

詳細につきましては、JSQCホームページに掲載いたします。

<https://jsqc.org/anq-congress-2021-singapore/>

行事案内

●50周年記念シンポジウム

テーマ：激動する時代に飛躍する未来志向の品質経営

日時：2021年5月28日(金)13:00~17:40

会場：早稲田大学大隈記念講堂 小講堂よりオンライン開催

プログラム：

- 趣旨説明
二橋 岩雄氏 (JSQC会長)
- これまでのJSQC学会活動の紹介
永田 靖氏 (JSQC副会長)
- JSQC学会が今後果たすべき役割とは
二橋 岩雄氏 (JSQC会長)
- これからの時代の「品質」
～DX時代のエクセレントサービス
小原 好一氏 (前田建設工業)
- 価値デザイン社会の実現に向けて(仮)
小林 英司氏 (内閣府)
- 変化の時代における品質経営の
アプローチ(仮)
狩野 紀昭氏 (東京理科大学)
- パネル討論
これからの品質経営と本学会が果たすべき役割とは？
ファシリテーター：永田 靖氏
パネリスト：上記講演者

申込締切：2021年5月21日(金)

詳細・申込：https://jsqc.org/50th_anniversary_symposium_news/

●第122回研究発表会(本部)

日時：2021年5月29日(土)10:00~17:10

会場：Zoom会議室(オンライン)

プログラム：

- 10:05~11:00
チュートリアルセッションA
浅羽 登志也氏
(IJIイノベーションインスティテュート)
- 11:05~12:00
チュートリアルセッションB
村川 賢司氏 (村川技術士事務所)
- 13:00~17:05 研究発表会

申込締切：2021年5月21日(金)

詳細・申込：https://jsqc.org/125th_kenkyu/

事務局からのお知らせ

「品質オールジャパン連合：JAQの発足に向けて」の連載記事がスタートとしました!!

会員の皆様もご存知の通り、品質に関わる主要5団体である日本品質管理学会、日本科学技術連盟、日本規格協会、日本能率協会、品質工学会が参画するJAQ (Japan Association for Quality: 日本品質協議会) の活動の一環として、「品質オールジャパン連合：JAQの発足に向けて」の連載記事がスタートしました。

第1回目の記事は当学会第48・49年度会長の棟近 雅彦氏 (早稲田大学) です。是非ご覧ください。

連載記事『品質オールジャパン連合：JAQの発足に向けて』金子 雅明氏 (JSQC)
<https://jsqc.org/jaq/topics/2021/hinshitu-alljapan/>

連載記事その1『価値創造は基盤作りから』棟近 雅彦氏 (JSQC)
<https://jsqc.org/jaq/topics/2021/rensai-sono1-munechika/>

●第142回講演会(関西)

テーマ：多様性の受け入れを阻むものは何か? ~真なるD&Iを目指して~

日時：2021年6月18日(金)13:30~16:30

会場：Zoom会議室(オンライン)

プログラム：

- 講演1：女性がより一層活躍できる環境づくりと企業の取り組み
日高 乃里子氏 (元 帝人)
- 講演2：企業におけるLGBT+支援の取り組み
梅田 恵氏
(元日本IBM/EY Japan)

パネルディスカッション

申込先：関西支部事務局

詳細：https://jsqc.org/142th_kouenkai/

●第128回QCサロン(関西)

テーマ：江戸時代の品質保証

ゲスト：斎藤 彰氏 (村田製作所)

日時：2021年6月21日(月)19:00~20:30

会場：Zoom会議室(オンライン)

申込先：関西支部事務局

詳細：<https://jsqc.org/128qcsalon/>

●第2回特別座談会

TQM推進の勘所—先人の知恵を借りる—

日時：2021年7月9日(金)13:00~18:00

会場：Zoom会議室(オンライン)

プログラム：

- (株)ジーシーにおけるGQM推進の道のり
武石 健嗣氏 (元ジーシー)
- コニカミノルタ(株)におけるプロセス改善の推進
須加尾 政一氏
(Q&SGA研究所/元コニカミノルタ)
- ソフトウェア開発の定量化と成功要因の分析による改善活動の推進
誉田 直美氏 (イデソン/元日本電気)
- サンデンにおけるTQMの推進
藤井 暢純氏
(グローバル品質経営研究所/元サンデン)
- 座談会
司会：中條 武志氏 (中央大学)

申込締切：2021年7月2日(金)

詳細・申込：https://jsqc.org/2nd_zadankai/

●第173回シンポジウム(中部)

テーマ：「価値デザイン社会」を考える

日時：2021年7月14日(水)13:15~17:00

会場：オンライン開催

プログラム：

- 特別講演：価値デザイン社会の実現に向けて(仮)
小林 英司氏 (内閣府)
- 基調講演：潜在ニーズの発掘と魅力ある新商品コンセプトの創造(仮)
丸山 一彦氏 (和光大学)
- 事例講演：必要な移動を楽しい移動へ
江里口 真朗氏 (ソニー)
- 事例講演：三井物産における価値創造
下村 正樹氏 (三井物産)
- パネル討論
ファシリテーター：古谷 健夫氏
(クオリティ・クリエイション)
パネリスト：上記講演者

申込締切：2021年7月7日(水)

詳細・申込：https://jsqc.org/173_chuubu_symposium/

●第123回クオリティトーク(東日本)

テーマ：オンラインでの海外TQM指導
四方山話(仮)

ゲスト：狩野 紀昭氏 (東京理科大学)

日時：2021年7月16日(金)18:00~20:00

会場：Zoom会議室(オンライン)

詳細・申込：<https://jsqc.org/123qtalk/>

●第126回研究発表会(中部) 発表募集

日時：2021年8月25日(水)

会場：Zoom会議室(オンライン)

申込締切：発表申込締切：5月31日(月)

予稿原稿締切：7月16日(金)必着

参加申込締切：8月18日(水)

詳細・申込：https://jsqc.org/126th_kenkyu_bosyu/

●第127回研究発表会(関西) 発表募集

日時：2021年9月17日(金)

会場：Zoom会議室(オンライン)

申込締切：発表申込締切：7月5日(月)

予稿原稿締切：8月27日(金)必着

申込先：関西支部事務局

詳細：https://jsqc.org/127th_kenkyu_apply/

事務局

JSQCホームページ：www.jsqc.org/

本部：E-mail：jimukyoku@jsqc.org

中部支部：E-mail：nagoya51@jsa.or.jp

関西支部：E-mail：kansai@jsqc.org